

記入例（返還猶予）

記入日：●●●●年 ●●月 ●●日

日本学生支援機構理事長 殿

奨学金返還期限猶予短縮願を作成した年月日を記入。

どちらかに○をつける。
※減額返還・返還期限猶予ごとに用紙をわけて記入。

奨学金減額返還短縮願

奨学金返還期限猶予短縮願

現在、下記奨学金は減額返還もしくは返還期限猶予の承認期間中ですが、通常の割賦金額での返還再開をお願いします。

記

複数学種返還期限猶予中の場合は、返還期限猶予短縮希望の奨学生番号は漏れないように、すべて記入。

○奨学生番号（短縮希望の奨学生番号をすべて記入）：

60604●●●●●, 80404●●●●●

○通常返還の開始希望年月

返還期限猶予の承認期間中、返還を再開したい年月を記入。

●●●●年 ●●月 より返還開始希望

※ 減額返還については、2分の1で適用されている場合は2の倍数回、3分の1で適用されている場合は3の倍数回、4分の1で適用されている場合は4の倍数回、3分の2で適用されている場合は3の倍数回の返還が終了した翌月から変更となります。

フリガナ : キコウ タロウ

○奨学生氏名 : 機構 太郎

生年月日 : 19●●年 2月 22日

○住所 : 〒 162-0000

生年月日を記入。

東京都 新宿区 市谷 本村町 10-7

○自宅電話番号 : 03-●●●●-●●●● ○携帯電話番号 : 090-●●●●-●●●●

○勤務先名 : ●●株式会社 ○勤務先電話番号 : 03-●●●●-●●●●

※ 通常返還開始希望年月の3か月前から前月末日までに提出してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与事業（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、連帯保証人、保証人、学校、金融機関及び業務委託先に、また、機関保証制度加入者の本人連絡先情報が本人以外の連絡先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機関保証制度加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。